

議 事 録

名 称	八王子バイオマス・エコセンター住民説明報告会
日 時	平成 27 年 2 月 15 日（日）午後 1 時 00 分～午後 3 時 15 分
場 所	株式会社イズミ環境 D 棟 2 階会議室
出席者氏名	株式会社イズミ環境 中元会長、松山社長、他 7 名 アドバイザー 2 名 事務局
参加人数	35 名 (内、八王子市 3 名、市議 1 名、マスコミ 2 名、 イズミ環境関係者 3 名)
配布資料名	八王子バイオマス・エコセンター説明報告会、パワーポイントのスライド
議事の内容	
<p>株式会社イズミ環境 松山社長より開催の挨拶</p> <p>株式会社イズミ環境 司会進行によりスライド内容に沿って説明。</p> <p>株式会社イズミ環境 司会進行により質疑応答の説明。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>住 民：健康被害調査の目的は何ですか？</p> <p>中元会長：報告書にも転記されていますが、イズミ環境の悪臭によって、健康被害があったか、無かったかの確認をしたいと言うのが第一の目的です。あったと回答された方には、直接訪問するのではなく、訪問して良いかどうかのヒアリングをさせてもらっています。ヒアリングのやり方としましては、返信用封筒で回答を入れて頂いて、日時等設定して頂ければ、その日時にお伺いさせて頂き、まずはお詫びを申し上げて、健康被害についてのヒアリングをしたいと考えております。実際 30 数件の方が被害を受けたと言う回答で、その方に郵便で送らせて頂きました。その結果 1 件、何時でも良いと言う内容で、届いた日の 2 月 6 日に、電話連絡したところ、今から来てもらって良いとのお答えでしたので、すぐにお伺いし、お詫びをして事情を説明しました。いろいろな対応をお伺いしましたが、「その必要はない。ただ、臭いだけは何とかしてくれないか？」と言うことでした。それと、4 月以降に来て下さいと言う方もいらっしゃいましたので、これからも、回答くださった方には、我々も真摯に受け止め、お伺いし、お詫びして、その対応の仕方を協議させていただきます。</p> <p>住 民：そのことは、市には？</p> <p>中元会長：全て報告書と言う形で、途中経過も含め報告しております。</p> <p>住 民：それに対して市からのコメントは？</p>	

中元会長：コメントと言うか、健康被害調査については、先生方にもいろいろお聞きしまして、我々の気持ちと言うものはあまり入れない方が良さだろうと、調査なのだから、客観的な部分と主観的な部分で、主観的な部分と言うのは、皆様から頂いた文面の中で、誤字、脱字があっても、そのままを記載させて頂いています。だから主観的なものを入れない。市さんも考え方は同じだと思います。

住 民：今、お話しされたことは、ホームページには載せないのですか？

中元会長：ずいぶん前に、ホームページに公開してあります。

住 民：今、お話しされたことが、そのまま載っていますか？

中元会長：はい。ただし、Q&Aは載せていません。手元にある資料と同じものを掲載してあります。

住 民：ホームページを見させて頂いたところ、まとめとありますよね、7番。まとめではなくて、ただこれは、これまでの結果報告を見ればわかることなので、今お話しされたことをきちんと文面にして、載せて頂きたい。

中元会長：住民説明会もこれから定例的に行うとのことのお知らせをしましたように、1回/月第4土曜日の午後2時からというご案内を差し上げていると思うのですが、環境保全委員会の方も定例的に行い、それらで上がった意見等は、全てオープンに公開していこうと思っています。この説明会の内容も、議事録を作成しております。

住 民：わかりました。今の話しは載せると言うことですね。

中元会長：はい。

住 民：先ほど、松田先生に一生懸命説明して頂き、ありがたかったのですが、松田先生は、イズミ環境がここで事業を始めるときから、顧問されているのですか？

松田先生：いいえ、違います。

住 民：この問題が起きてからですか？

松田先生：去年の5月に八王子市の評価検討委員会で、イズミ環境が提出した改善計画書では、駄目だと言われました。私が係るようになったのは、その後の6月末からです。

住 民：事業主さんの前で申し訳ないですが、普通でしたら、大丈夫だと言うデータを出されれば、大丈夫だなと信用できるのですが、ここの住民はイズミ環境さんに信用を完全に失っています。そこで大丈夫だと言うデータを見せて頂いても、大丈夫かもしれないけど、やはり信用できない。結局、人間同士の関係ですから、一度失った信用と言うのは、なかなか取り戻せないと思います。そういう事を踏まえた上で顧問して頂ければ、ありがたいと思います。いくら、良いデータを出されても、おそらく難しいのではないかと、私は個人的に感じております。

松田先生：と、言う意味は？

住 民：つまり、科学的に大丈夫だと言うことを示して頂いても、例えば他の事業主さんなら、大丈夫かもしれないけど、イズミ環境さんは、ちょっと勘弁してほしい

いと思う方が多いのではないかと思うので、そのことを、頭の隅に置いてもらおうと良いかなと思います。

松田先生：はい。わかりました。二重三重に安全をみた実験計画で。

住 民：はい。

松田先生：信用を失ったことは、重々承知していますので。それは頭に充分入れて、対応したいと思います。

住 民：最初、おが屑を使用し実験される。そこでは、臭いは出ない、通気性だけを見る実験だと言うことなのですが、当然ものが違えば条件は変わってきますよね。通気試験の結果と言うのは、生ゴミに替えた後でも、使えるのですか？

松田先生：おが粉の実験を行ってから、いきなりすぐ、生ゴミを使用した実験には行きません。戻し堆肥を使用して、実際に残渣に近いものを使った通気試験を行う予定です。それだとほとんど同じ状況が再現できると思います。ただ、いきなり残渣を使用するのが怖いので、最初は安全なおが粉を使用し、発酵槽自体がきちんと機能するのかということから、調べたいということです。そういう意味でも、まず安全をみた実験で、おが粉だけで良いとは全然思っていない。

議員：会の進め方ですけれども、全部説明された後、質疑応答になっているのですが、そこで出た質疑に対し、いったりきたりして平行線の問題がありますよね。それが、そのままになって、次の説明会になっている。報告をされたことが既成事実として、実施しますと。いくら議論をしても、次の段階へと言う説明会が行われると言うやり方に関しては、非常に疑問を持っていますし、おかしいと思っています。その一つとして、委員会に関しても、住民さんの方としては、そういう提案があったと言うことは、説明会で聞いてはいますが、それに関して、そういう委員会を住民と一緒に、またそれに、市が入るのか、入らないのか、どう言う立場での委員会なのかということの了解も何もない中で、こういう形で参加者があったからということにして、進んでいくこと自体も、既成事実になっていく意味合いで、納得の行かないままに進められている。ということに対して意見を申し上げます。

それと、通気試験の説明もありました。これは、前回12月の小さな会場で、本当に実験室レベルでの実験を行った、次に出てきた通気試験の案ですけれども、これは、実プラントを使うと言う松田先生のご説明ですけれども、これに関しては、昨年の評価検討委員会で、どうしても事業者さんがやりたいのであれば、実証実験を行い、大丈夫だと言うデータを示しなさいと言う補足の意見が出ましたが、それは、この場所を使用しないようにと言うことが、きちんと検討委員会の中で言われています。そのことをきちんと市との話し合いの中で、たとえ案と言う形でも、この実施設を使う形での通気試験と言うのが、示されること自体、やはり非常にこれも独り歩きすると思いますので、私としては撤回してほしいと思っています。まずはそのお答えを、お聞きしたいと思います。3点です。

中元会長：保全委員会を立ち上げるのにあたり、何か法的な縛りなど先生あるのでしょうか？

議員：特にないと思います。でも、市の請願で採択されたように、住民との協議をきちんと進めるように。住民の人に納得してもらうように。と言う話が前提で、イズミさんもお迷惑をお掛けしましたとおっしゃって、皆さんともやっていくと言うのであれば、一方的に進められること自体は、問題ではないですか？法的な問題とかでなくて、信頼関係の問題、先ほども信頼がない中でどうするのですか？と言う意見がありましたよね。

中元会長：保全委員会も一つの、住民様と寄り添っていくための一つの手段だと私は考えてですね、今、先生がおっしゃったことと、ほとんど同じ考えです。先ほど男性の方がおっしゃったように、信頼関係が失われた中で、どうやって住民様と寄り添っていくのか。その一つの手段として考えて頂ければ良いと思います。ただ、それに賛同できない、イズミ勝手に潰ればなどとおっしゃるのであれば、その会に参加しなくても結構ですし、でも我々は、開かれた会社を目指したいと、これだけ信頼関係がなくなったのですから。これをゼロもしくはマイナスからの再スタートなのです。それを行うために、いろいろな手段をやっていかなければならない。そのために、環境保全委員会に我々も、いちメンバーですから真摯にその中に入って、委員会で言われたことは真摯に我々もご意見に対して、お答えをしますし、それに積極的に参加をして、失われた住民との信頼を取り戻そうというための会なのです。何を先にやるべきか、何をやってはいけないのか。ではなく、全てを今、同時にやらなければならない。それが我々におかれているものだと思っています。

そして、通気試験ですが、確かに評価検討委員会で、中崎委員長から言われて、市から昨年5月21日に、改善計画書についての市の見解通知文書をもらい、我々は、これが全てなのです。これを基に我々1年間歩んできたのです。

ここに書かれているものを遵守してやってきました。この中に実施以外で行いなさい。となった原因は悪臭なのです。悪臭を出して、皆さんに多大なご迷惑をお掛けしました。住民さんのご理解を得るためには、まず一段階ずつ、悪臭で皆様にご迷惑をお掛けしたのであれば、悪臭を取れるか、取れないかで、この実験は終わりました。ただし、他の施設で終わっても、実施で行わないと、100%確定と言うことは、我々には言えません。Aのプラントで行わなければならないものを、CまたはDのプラントで行っても、それが反映されるかと言うことです。全ては反映されないと言うのが、松田先生と我々の認識です。4回目の検討委員会の時に、藤倉先生から、臭気問題に関しては、実機を使わざるを得ないだろう。と言うコメントも議事録を読んで頂ければわかると思います。実機を使わない限り確定は出来ません。このプラントで実験を繰り返すと言うことはですね、住民様にご理解を得たいのです。いきなり、10t、20t生ごみを入れてやるわけではないのです。ごく少量から始めて、理解を

得ながら、ポイント毎に説明会を開催しながら、行っていくと言うのが説明会の主旨ですから。

住 民：やってみなければ、わからないと言う事業に、賛同するわけない。

中元会長：そうでは、ないのです。

住 民：今、質問者を聞いていると、住所も名前も言わないで、言っているのだけでも、申請クリアして、農水から補助金もらって、この事業を始めた。駄目だった問題は、臭気の問題。このまま駄目になると、何億円の金が無駄になる。その金があれば、他に使い道もあるのに。行政も何もしない。臭気の測定器も設置しない。もっと住民も参加して、環境、公害について皆で考えるべきです。勉強するために、そう言う委員会も必要だと思います。議員さんが来ていますけど、請願が1500何名出され、皆さん賛成した。賛成した人達が出ていない。
※聞き取れない部分あり。

住 民：他のプラントで実験を行って、脱臭だとか大丈夫だと、なってから実プラントに持ってくると言った話ではなかったのではないですか？先ほどの質問もまだ、3つ全て答えていないけれど。

中元会長：臭気を取れると言うことに関しては、我々約6か月間行いました。それで、過負荷、定常実験ともに、臭気を取れると実証出来ましたので、このプラントに帰ってきて、次の段階のステップに入ろうと思っています。闇雲に何もせずに、実プラントで行うと言うことではないのです。

議員：まったく、別の実験ではないですか？

住 民：結局、何も行わないで、駄目だと言うのではなくて、実際プラントを動かす。それで、場所が駄目だと言うのは、おかしい。きちんとした実験と言うのは、必要ではないかと思う。機械がいくらか、わからないけど、無駄にしたくないと思う。

※聞き取れない部分あり。

中元会長：ありがとうございます。

住 民：僕の個人的な意見として、必要性と言うのはわかるのですが、ここに造られたこと自体の間違ひがあるのではないかと思うのですが。その時に、多数決で決まっただけで、少数意見があったと思うのですよ。多数意見が間違っていた場合、少数意見が強くなるのですよ。その少数意見の人が被害を被ってここにいるわけなのですよ。明らかに間違ひなのですよ。ここに造ったことが。だから、少数意見の意見が強くなるべきなのです。それが民主主義だと思うのですよ。かなり強引に多数意見が通ってしまったので。当時、僕は覚えていますけど、はっきり言って反論の余地がなかった。だから、正しいとか、正しくないとかでは、ないのですよ。一方的だったのです。松田先生も知らないと思うのですが、僕達は反論したのですが、できなかつたのです。再三反論したのです。けども、建ってしまった。絶対臭わないと言って、何も聞いてもらえなかつたのです。その背景があつて、今回通気試験とか書いてあるのです

けど、僕が聞きたいのは一点なのですが、市との話し合いが終わっていないのに、案を出すのは、おかしくないですか。市との協議はどうなっているのですか。市との話し合いが終わっていない段階で、なぜ、このような案が出てくるのですか。市との協議は、どのような状況になっているのですか。

中元会長：先ほどの通知文書の中にも、市に報告しなさい。と検討委員会の先生方から我々言われております。市さんの方には逐一報告はしております。ただし、話し合いとすることに関して、なかなか時間的なこともありますし、通知文書を遵守しながら進めてきたと言うことが、現在に至るところです。

住 民：時間的とは、どう言うことですか。

中元会長：我々は、民間企業です。市さんと協議するにあたって、なかなか我々が提出した書類が、短期間で回答を頂けないです。ことあるごとに、松田先生と一緒に説明に行っています。ただこの打合せ等も、なかなか時間が許せない部分もあります。

住 民：それが、誠意ではないですか。

中元会長：それが、誠意と言うのは？

住 民：その時間を取ること自体を、一番とぼしてはいけないところで、僕達が信用できる場所は、八王子市しかないのですよ。八王子市が言ってきたことに対しては、動きますよ。だけど、イズミさんが言われたことと言うのは、信用できないのですよ。前の1月の25日かに、八王子市がオブザーバーで入ると言うニュアンスの通知がありましたよね。

中元会長：はい。

住 民：1月吉日と書いてあって、1月25日の文面の中に、オブザーバー行政関係、農林水産省関東農政局、東京都、八王子市と、しっかり明記されているのですよ。その時、僕は予定があって来れなかったのですが、八王子市の方は、オブザーバーとしては、座っていなかったと、参加された方から聞いているのですけど。

中元会長：オブザーバーと言うのは、環境保全委員会に対して、出席して下さるメンバーの中に、八王子市役所をオブザーバーと言うように記載させてもらっていると思うのですけど。

住 民：そう言うことなのですね。これは。八王子市との話し合いはまだ、この段階では何もついていなかったと言うことですよ。

中元会長：そう言うことです。

住 民：今回に関しても、話し合いはついていないと言うことなのですよ。

中元会長：オブザーバーに関して？

住 民：オブザーバーではなくて、案について。

中元会長：まだ、ついておりません。

住 民：なぜ、ついていなくて、時間が掛かるのは、わかるのですよ。時間が掛かって、通気試験の案が5月から1レーン全体を使用した試運転と言うのは、あり

えないと思うのですが。

中元会長：我々1月25日にも、説明会を開かせて頂いて、12月7日にも開かせて頂きました。その中で、イズミ環境に住み様の電話連絡等は一切来ていない状態です。事実を言いますと、1件だけ来ました。その内容は、書類が投函されて来るが、イズミ環境さんと言う会社は何をやっている会社だ。何処にあるのか。と言う電話はありました。市さんと話をしましたら、多くの電話が入っていると言うことは聞きましたが、どのような内容で市さんに電話が入っているのか、我々には全然見えないことなのです。ですから、説明会を開いて、その中で、来て頂いた住み様から意見を参考にして、このように進めてきているのです。

住 民：市と一緒にやったら、どうですか。

中元会長：一緒にやっています。

住 民：市の方と一緒にディスカッションしたら、どうですか。

中元会長：今日、市さんも来ていますよ。

住 民：協議はされているのですか。

八王子市：事実を申し上げますと、今日の説明会開催、事業者さんがやろうとしている通気試験、生ゴミを入れた実験、そう言ったものの、話し合い、協議というものはやっておりません。2月2日に、今日の説明会を行いますと言う書類が、事業者さんから提出されました。あと、通気試験の計画書、2月2日夕方くらいに、頂いたのは事実であります。それについての説明も事業者さんから受けていませんし、その中身についての話し合い、そう言ったことも現在は出来ておりません。それが事実です。

今日、私が参加しているのは、住み様の皆さんが説明会に参加されて、どう言うお考えでいるのか、そう言ったものを我々は許可をしている許可権者ですから、責任がありますので、皆さんと事業者さんのやり取りをお聞きして、参考にしたいと考え、参加しました。

住 民：それは、市役所職員として参加されているのですか。

八王子市：市役所職員として参加しております。

住 民：この前も、そうですね。

八王子市：はい、そうです。

島田先生：ちょっと、よろしいですか。今、説明を受けていません。と言われたのですが、1月29日(木)に伺って、この内容にほぼ等しい、ほぼ等しいと言うのは、その時にはまだ、健康被害調査アンケート結果まとめが、完了していなかったもので、それについては、最終的なまとめを待ってと、環境保全委員会についてと、通気試験についてもご説明していますし、今後このように行っていくと言うようなご説明を、松田先生と私も一緒に伺って、その時にそう言う説明をさせて頂いたと思うのですが。

住 民：説明だけで、協議をしていないと言うことでは、ないですか。

島田先生：協議をしていないと言う定義がよくわかりませんが、そのように言われれば、

その通りです。

住 民：それでいて、歩調を合わせていると言うのは、ちょっとおかしいのではないかと思いますのですけど。

中元会長：今の、課長のコメントですと、説明を受けていないと、おっしゃいました。協議をしていないとは、おっしゃっていないですよ。ただ、我々は説明に市に行ったのです。3時間半かけて。それに対して、説明の仕方が悪いのか、協議になっていないのか、我々は説明したつもりでした。ただそのボタンの掛け違いなのか、その辺の見解の相違なのか、我々事業者としても、わかりません。

住 民：協議をしたか、してないか、話し合いの説明なのか、わかりませんけど、少なくとも、八王子市が計画について、認めてはいない。と言うのは事実なのですよね。

中元会長：昨年5月21日(市の見解通知文書)にですね、認めろとか、承諾しろとか、協議をしろとか、どこにも書いていないのです。我々はこの手順書を基に、この1年間踏ん張ってきたのです。

住 民：わかりました。それなら、御社が稼働するにあたって、八王子市の許可は、必要でないと言う認識なのですよね。

中元会長：そう言うことでは、ないのです。

住 民：では、どう言うことなのですか。

中元会長：昨年5月15日に4回目の検討委員会が終わってですね、21日に市から呼ばれ、その時、イズミ環境はやっていく意思があるのかと言う問いに、やらせて下さいと言うお願いをしまして、通知文書に基づきやってきました。説明会を開くにあたって、市さんに承諾を得なければいけないのか。我々が、勝手にやっただけでは、いけないのか。環境保全委員会を立ち上げるのも、市さんに了解を得てから、やらないといけないのか。民間企業が独自にやっただけでは、いけないのか。これら全て、我々はわかりません。

住 民：慎重を期すのであれば、基本的には市の許可を得るのが当然だと考えるのですが、御社はそう考えていないということですか。

中元会長：そうではないです。先ほども言ったように、両先生をお連れしながら報告にも行くし、説明にも行きます。それを、繰り返しやってきました。

住 民：そこで、八王子市がOKを出さない限りは、ちょっとやめておこうと言う気には、ならないということですよね。

中元会長：説明会ですか。

住 民：計画にせよ、何にせよ。住民の代表は、八王子市だと考えることもできますよね。幾らここで、住民説明会をやったところで、住民投票をするわけでもないので、賛成反対がはっきり出るわけでもないと思うのですよね。なので、住民の代表として八王子市が、八王子市議会という言い方もできるかもしれませんが、実務的なこととしては、八王子市であると。その意見が、住民の代表なのかなと言う考えには至らないということですか、御社は。

中元会長：決して、そのようなことはないです。打合せには言っているのです。

住 民：打合せに行って、八王子市が良いですよと言う話しが出ない限りは、ちょっとやめておこうか、計画練り直そうかと言うようには、思わないということなのですか。と言うことですが。

中元会長：非常に難しい質問です。

住 民：市役所は直営で、こういうもの造って一回失敗したら、市役所はいくら金が掛かっても、やめちゃいます。市役所に聞いて下さい。二回許可しますかと。市役所が今日来ているのだから。出来るわけない、それだけ信用なくしてしまっているのだから。ものすごい臭いで、魚の腐った、腸腐ったような、あの臭い嗅いだら死んじゃうかと思った。臭いなんてもんじゃないよ。だから文句言っているんだよ。

中元会長：ただ我々ですね、住民説明会をこれだけ開いてきまして、

住 民：なし崩し。

中元会長：なし崩しではないです。だから我々は意思表示もしてきました。次に臭気を出せば、撤退やむなし。と言う上で、こうやって挑んでいるのです。

住 民：質問と言うか、提案なのですけど、これだけの住民のお休みを割いて、ここに呼ばれていて、人件費ってご存知ですよ。住民は巻き込まれているわけですよ。お宅の失敗に住民は付き合わされているのですよ。来てもらっているわけですから、働かされているのと一緒に、来たくもないのに、この時間に来させられている。これはアルバイトと一緒に。しかも、この時間って凄いストレスで、私も今心臓がドキドキしています。これちょっと身体が弱い方なら心臓にきます。本当です、凄くドキドキしているのです。住民の皆さんの気持ちがわかるからこそ、ドキドキドキドキして、何も発言していないけどドキドキするのは、それぐらい身体に悪い時間だと思います。だから、この状態だと、もう何を言っても仕方がないと思うのですよ。市の方だって、やっぱり市なのだから、中立でいなければならないと思うのですね。でも内心、こんな思いをするなら、潰れてほしい。と思っているのではないのでしょうか。だって住民から恨まれることになるのですよ。市の立場だからと言って、何もしていない人が恨まれるのは、おかしいでしょ。失敗してしまったのだから、潔く撤退すると言うことが、本当のところだと思います。これだけの人から、こうやって時間を割くのであれば、お給料を用意して下さい。毎回説明会のたびに、お給料を用意して下さい。それでも、勿論反対しますけど、お金をもらったから良いということではなくて、ちゃんとお給料払って、住民の皆さんに働いてもらうような感覚で来てもらって、それでお金が無くなったら、そこまでで、撤退して下さい。そんなお金があるのであれば、住民にもっと還元して下さい。健康被害が出ているのです。命が掛かっているのです。これだけの施設がここに建つこと自体が本当におかしいと思うのですよ。長池公園の美しさとか、皆そう言うのが好きで、この辺に集まって住んでいるのです。そういう土地を高い値

段で買っているのです。かわいそうじゃないですか、働いている人も。気の毒だと思えるのですよ。ずっと下にいて、辛いと思います皆さん。誰もが辛いのです。住民も辛いし、働いている方も辛いし、だからお願いしますから、会長さん本当に判断して下さい。次に臭いが出たらやめますとかではなく、やめて下さい、本当に。残っているお金があるなら、返して下さい。本当にやめて欲しいのです、みんなのために。あなた方の身体のためにもやめて欲しいのです。見ていて気の毒なのです。いい年のおじさまが、自分の父親と同じくらいの年齢の方が、こうやって言われているのを、見ているのも辛いです。かわいそうだなと思っているのです、本当は。きついことだって言いたくないし、身体に悪いですよ、いつまでもいつまでも。絶対良くないと思います。

住 民：お金を出したのは、農水省で国家の税金、我々の税金で、それが全部無駄になってしまう。良いとなったから許可して、八王子市地域のためになると思って、八王子市も東京都も建築許可を出した。それで、1回くらい失敗したからと言って、やめろやめろと。やめさせたら、お金は無駄になる。臭いの問題は大変だと思える。公開実験にも行って臭いを嗅いできたけど、それが直っている。
※聞き取れない部分あり。

住 民：ちょっと話しが、かみ合っていないかなと思います。絶対臭わないと言って始めた事業が、もの凄い臭いで本当に多くの方が苦しみました。それは事実として認めていますよね。次をどうしようかと、なっている時に、ある程度答えは出ていますよね。検討委員会の中の提案が、ここまでの間に順番にやってこられれば、私達ここまで疑問を持たないし、反感を持たないし、もうちょっと理解できたと思います。あの検討委員会で話し合われたことが、どのように活かされているのか、全く伝わってきません。初めの方の段階で、イズミ環境と住民と、行政による協議の場が必要だね。と言う、話しが何回か出ていたと思います。それは、お互いに対等な立場で協議をする。協議だからそう言うことですよ。今言われている保全委員会と言うのは、行政側はアドバイザーですよ。アドバイザーと言うのは、

中元会長：オブザーバーです。

住 民：オブザーバーと言うのは、発言権もないし、決定権もないし、責任もない。と言うことですよ。これだけ私達、長いこと臭いで苦しんできた。直接臭いがなかった人は、わかりませんが、臭いで苦しんできた人は、もう一回あれを繰り返されたくないと思うのは普通ですよ。それは、わかってもらえますよね。そしたら、先ほど松田さんが説明されたことが、今ここで進めていかれるとは、思わないですよ。まず、改善計画書を提出して、やっていくことが先ですよ。協議の場と言うのは、保全委員会と言うことではなくて、住民とイズミ環境だけでは、立場は対等ではないと思います。対等だとおっしゃるかもしれませんが、私達は対等だとは絶対に思えないです。あれだけ長い間苦しまなければ、ならなかったのですから。と言うことは、ここを認可した市と、東

京都と、農水省がオブザーバーではなく同じ協議の場に参加する。そういう協議の場を設定することが、先ではないでしょうか。その方が皆に納得してもらえenと思います。賛成してもらえenと思います。イズミ環境さんだけが、やるよやるよと言われても、私達はそれにのれません。ちょっと纏まらないですが以上です。

中元会長：ごもっともな意見で、我々も各官庁・・・それはまた相談させていただきます。保全委員会の中でも、農水さん、東京都さんにもコンタクトは取っているのですが、皆さんが参加して下さるかと言うのは、まだ確定ではありません。

住 民：相談ではなくて、構成メンバーとして、きちんと参加してもらって下さい。それならば、皆さんはわかりませんが、私は参加を少しは考えられます。今のままでは、とても参加出来ません。

中元会長：参加をお願いして参ります。住民説明会にわざわざ来て頂いて、先ほどのお金と言うこともありましたけど、それはどのようにしたら良いか見当がつかないですけど、貴重な意見としてですね、各官庁にもその辺の話はさせて頂いて、進めて行きますので。

住 民：先ほどの環境保全委員会ですが、南大沢1. 2丁目、3, 4丁目、町田市小山田町の方はメンバー決まっているということですか。

中元会長：はい。

住 民：その中に利害関係だと言う方は、いらっしゃいますか。

中元会長：利害関係と言いますと、どのように受け取ったらよろしいでしょうか。

住 民：御社の社員であるとか、下請ですとか。

中元会長：一切ありません。

住 民：環境保全委員会の位置付けですが、環境保全委員会でGOサインが出たから、進めましょうと言う話しでは、ないですよ。

中元会長：ないです。

住 民：では、どのような位置付けなのか、御社の考えを聞かせて下さい。

中元会長：地域の数多くの住民の方に、参加して頂いて、我々が進めて行くもの、運営全般に対して、監視をして頂く。だから、先ほども最初お詫びの中で、これだけ信用を失ったのですから、物事全てオープンでやっていきたい。その考えで、この環境保全委員会と言うものを立ち上げ、そこでご意見、ご指導を頂いて、その貴重な意見を、いつも心に留めて社員一同、役員も含めてやっていこうと言うことが、今回の主旨です。

住 民：どの程度の権限があるのですか。たとえば、環境保全委員会で、この計画は認められないと言ったら、ストップするのですか。

中元会長：委員会の中で、我々も一構成員ですから、構成員と言いながらも、構成員の会社を監視するための保全委員会ですから、我々の運営方式だとか運営の仕方、現状等を冒頭で説明させて頂いて、それに対して有識者含めた、住民の方々にもんで頂いて、良い悪いかの方向性が出てくると思うのです。その中で民主

主義なのですが、先ほども何方かに言われた、多数決云々ではなくて、もらった意見は、もらった意見で、貴重な意見として、これからの運営に活かしていきたいと言うのが、我々の気持ちです。

住 民：許可を与えるための、存在になってしまうと言うのが、危惧するところではある。

中元会長：そう言うことは、決してないです。今日、この後に1回目の委員会を予定しているのですが、決してそれは任意の団体ですから、その中で我々を監視して頂く、それをまた、持ち帰って頂いて、町内会などで配布して頂ければ結構です。我々は、それをイズミ環境のホームページで全面公開していきますので。

住 民：御社は、八王子市の意見をあまり聞かないと言うのに、環境保全委員会の意見を聞くのかと言う疑問はありますよね。

中元会長：任意の団体ですが、第三者が立ち上げようと言うのではなく、我々が立ち上げようと言うことで、立ち上げるのですから、我々もそれを真摯に受け止めていかなければならない、そう言う立場です。真摯に向かい合うと言うことが、この会の一番の目的です。

住 民：この委員会は、・・・・・・なんの再稼働に賛成反対と言う、なんの担保もならないと言うことだけ、意見として申し上げたいと思います。

中元会長：はい。

住 民：通気試験は、ここでやりたいのですよね。それをやる前提として八王子市がOK出さない限り、やりません。と言うことで良いですか。見解文書の助言に、ここでやるなど書いてありますよね。これに則ってやってきました。でも、ここでやります。と言う話しをしているのですよね。

中元会長：そうです。

住 民：それを、我々に言ったところで、八王子市はやるなど言っているのですよね。と言うことは、出来ないと思っているのですけれど。

中元会長：やるなどは、おっしゃっていないです。

住 民：助言の1番なんて書いてありましたっけ。

中元会長：当施設以外で実証実験を行うこと。

住 民：ここ以外と言うことですよ。

中元会長：これに関しては、ここに書かれているのは、悪臭なのです。悪臭が取れるか取れないかと言うことなのです。通気とか細分化された部分のことでは、ないのです。

住 民：悪臭が取れる実験とは書いてないですよ。実証実験と書いてありますよね。

中元会長：そうです。

住 民：と言うことは、通気試験は実証実験ではないと言うことですか。

中元会長：これから、行っていきたいのは、実証実験で得たデータを再確認するための実験なのです。

住 民：再確認するための実証実験をやるわけですよ。

中元会長：実験です。

住 民：だから、ここでは出来ませんよね。

中元会長：ここで出来ないとすると、この施設を動かせるか、動かせないかの判断をする時、この施設で実験を行わない限り、我々100%大丈夫だとは言えません。それを、もし言ったならば、住民さんに我々は嘘をつくことになる。

住 民：でも、ここでやるなど言われているのですよね。

中元会長：やるなど言うことは、倒産しろと言うことなのです。

住 民：じゃあ、倒産しろと言われているのですよね。

中元会長：この文章は、そう言うことに繋がるのですか。と言うことなのです。

住 民：繋がるのですか。と言うのは、八王子市に聞いているのですか。

中元会長：そうです。

住 民：本当に聞いているのですか。

中元会長：聞いています。

住 民：それで、なんて言っているのですか。

中元会長：協議が終わっていない、協議をしましょう。と言われていています。

住 民：協議をしましょう。と言われていて、協議が終わっていないけれど、計画を立てて、ここでやりたいです。と言うことを、八王子市ではなくて、我々に言っている。と言うことですか。

中元会長：そう言うことです。

住 民：それで、我々はどうすれば良いのですか。イヤですと言っておけばよいですか。

中元会長：ここで、賛否を問うことでもありませんから、

住 民：賛否を問わないのなら、うちらは何しに来たのですか。

中元会長：通気試験を何時何時からやろうと、案ですから今出しませんけど。こう言う実験の内容を皆様にお知らせすると言うことで、集まって頂いたと言うことです。

住 民：それで、やるなど言われているわけですよね。我々もやらないで下さいと、言っているわけですよね。だけど、やりたいのですよね。

中元会長：やりたいです。

住 民：やらないで下さいと、言っているのです。

中元会長：でも、やりたいです。

住 民：だから、八王子市に許可を取っているのかと言う話を先ほどから言っているのです。許可を取っていません。でも、やりたいです。それで、どうすれば良いのですか。うちら来ていて何の結論も出せないのですけど。

中元会長：許可では、ないのです。市さんから、うちに対して通気試験をやるのは、協議が終わってからのしてくれと言うお願いの通知文書は来ています。

住 民：それで、そのお願いは聞きません。と言っているのですよね。

中元会長：聞かないと言うことでは、ないです。打合せには行って、打合せはしたのです。

住 民：打合せに行った結果、聞かないのですよね。ちゃんと従いますと言っているけ

ど、従いたくないのですよね。

中元会長：従わないと言うことでは、ないです。協議と言うのは、お互い協力して、一つのことを纏めていく会ではないですか。

住 民：協議って、書いてないのですよね。

中元会長：だから、報告なのです。

住 民：さっきから、同じで平行線になってしまうのですが、ここでやるなど言っていることを、ここでやりますと、我々に宣言されて、我々は嫌です。と答えているのですよ。

中元会長：ここでやるなど言う部分は、もう 6 か月間掛けて、試験は終わったのです。

住 民：これで終わりましたと言うことを、八王子市に言ったのですか。そして八王子市が、終わりましたね、それでは次にいきましょうと言うような、ステップになったのですか。と言うことを聞いているのです。

中元会長：そこがまだ、見解の相違があるのです。

住 民：それは、八王子市にでしょ。その見解の相違がある中で、それを我々に言われても、嫌だとしか言えないです。八王子市がどのような回答したかも、わからないので。

中元会長：逆に、私から質問するのは、おかしいのですが。市さんと協議をして、やって良いです。と言ったら、やって良いのでしょうか。

住 民：まず、八王子市が、

中元会長：まずは、と言うことは、そこでハードル越えても・・・・・・

住 民：ハードルを越えてと言うのは、どう言うことでしょうか。

中元会長：市さんと協議と言うか、話し合いを今までもやってきましたし、ただその説明した、しないの食い違いが出てきたのです。1月 28 日か 29 日に説明には、行っているのです。記憶ですから、お忘れになったのかもしれませんが、我々の間違いかもしれませんが。

住 民：そもそも、議事録を取っていないのですね。

中元会長：議事録は、あります。

住 民：では、事実としていったのですよね。

中元会長：いってきました。

住 民：いった結果、八王子市が OK 出した？出してない？

中元会長：この説明はしました。

住 民：その結果、どうだったのですか。

中元会長：駄目とも良いとも返事はなかったです。

住 民：返事を下さいと言うのが、普通ではないですか。

中元会長：わかりました。と言う回答は得ました。

住 民：わかりました。と言うのは、どう言う意味なのですか。それを確認して次のステップに進むのが普通なのではないでしょうか。と言うことを言っているのですけど。

中元会長：そう言うことなのです。おっしゃる通りなのです。

住 民：何のために、説明会を開いているのですか。

中元会長：その中で、出たご意見を参考にさせて頂いた、その・・・

住 民：ご意見と言っても、これだけ数多く説明会を行っていますが、特に今年に入って、なぜかとても慌てているかのように数を沢山行っているように感じますが、回数が多ければ多いほど、住民が納得したわけではないですし、回数が多いから、やったと言う結果が残るのもおかしい。結局皆、反対しているのですよ。失敗されて、もう嫌なのです。だから、何回来ても、回数の問題ではないです、嫌なものは嫌なのです。撤退して欲しくて、迷惑なので、こんな思いは二度としたくないので、やめて欲しいです。そういう思いで来ているのに、市ともうまく疎通がとれていないのに、いったいどう私達に今答え、何を意見して良いかもわからない状況って、何のために集められているのかなと思うのですけど。

中元会長：決して、急いでいるということではないのです。ただ、2年間かけて準備段階を、ずっとやってきました。それでやっと、松田先生、島田先生といろいろな先生方に付いて頂いて、色々な形の実験の段取りが整ってきたということ。だから、急いでいるように、とられるかもしれませんが。そういうものの準備が整ったからスタートしてきているということです。闇雲に、何も協議もせず、何もやらないでということではないです。

住 民：結局、住民が納得して頂かないと。と言う話しをよく中元さん、おっしゃっていますけど、結局納得していない方が集まっている、そうでない方も、いろいろご意見あると思いますけど、納得していない人達に、納得出来るような回答がいつもこないのですけど。

中元会長：納得出来る回答が我々から出されていないということですか。

住 民：はい、そうですよね。

中元会長：納得と言うのは・・・

住 民：よく、住民の方には是非納得してもらえるようにと、おっしゃっていますよね。逆にどういうものを、納得と感じているのですか。

中元会長：私は、住民様の理解と言うのは、ここで我々が大失敗をした、大変ご迷惑をかけた悪臭問題ですね。その臭気を二度とあげない、その確約、出さないと言う確証をしていく。それには実験を繰り返し、皆さんにお知らせしながら、住民の理解と言うものを求めていきたいと言うのが、私の主旨です。

住 民：先ほども同じことを何度も言っていると思うのですが、それならば、最低限八王子市の認可を受けるべきではないですか。最低限ですよ。と皆さん思っていると思いますよ。なぜ、認可を受けないのに、納得してもらえると思っているのが、逆に私は不思議なのですけど。あと、議事録も残っていないくて、協議の内容もよくわからない状況で、協議しました、してないと言う話し、認可は受けているのですか、受けていません。それで納得して下さいって無理じゃな

いですか、普通。まず、ハードル越えて、そこからの話しでしょ、我々との話しは。対話するのは。

中元会長：おっしゃる通りです。

住 民：ハードル越えていない段階で、これやりますから、しかも怒涛のごとく説明会やっていますが、八王子市との協議的には何も進んでいないですよ。進んでいないのに、こんな沢山やられても何の意味もないですよ。我々が不安になっているのは、沢山やったから良いだろう、住民の意見を聞きました。と前もそう言うことが、あったのですよ。建設の時からそうなのですよ、御社って。住民説明会やりました。ちょっと待ってくれませんかと言うと、いや、待てません、建設します。決まっていることですから、臭いは絶対出しません。しかし凄い悪臭が出ました。すみませんでした。撤退し補助金返せば良いのでは、それはしません、会社が潰れるから。全部御社の都合をこちらに押し付けてくる説明会ですよ。こちらの意見を聞いているようで、聞いていないのですよ。我々がどう言う意見なのか、わかっているはずなのですよ、御社だって。わかっているけど、何もこたえようとしていないでしょ。我々が何を求めているかも、あまり聞いていないでしょ。

中元会長：そのようなことは、ないと思いますよ。

住 民：だったら、最低限八王子市の許可を得てくださいよ。そこから説明会をして下さいよ。なぜ、それをしないのですか。

中元会長：しないと言うことではないです。その話し合いは進めてはいるのです。

住 民：お役所の許可なんて、時間がかかるのは、わかりきった話しでしょ。そんな私だってわかりますよ。文書が必要だと言うのは大前提ですよ。それでも普通、一般企業であれば、そう言うのを見越した上で動くのですよ。なんで、御社はそれをしないのですか。

中元会長：それも、繰り返しおこなってきているのです。

住 民：じゃあ、なぜ見切り発車みたいな、こう言うことをするのですか。

中元会長：見切り発車ではないのですよ。我々は報告するものは報告して、昨日出したから、今日返事下さいと言うことでもないわけだし。

住 民：許可を得てから、やれば良いじゃないですか。なんで許可を得る前にやるのですか。住民の方々の時間を割いて。来ないなら来ないで、住民の関心がなくなった、皆賛成しているのだとか、言い出しかねないからね。

中元会長：そんなこと、一切ないです。

住 民：御社に信用がないから、我々は不安なのです。

住 民：結局、これ3月の末にも説明会やるじゃないですか、それは通気試験の結果の発表とかになってしまうのですかね、このままいくと。

中元会長：いや、2月の末にも、2月28日にも予定してあります。

住 民：これの後に、定例会をやるのですか。

中元会長：定例的に・・・

住 民：今日が2月分では、ないのですか。

中元会長：はい、2月の28日にも

住 民：今日のを2月28日に、なんでやらなかったのですか。なぜ1回に纏めてもらえなかったのですか。

中元会長：1月25日の段階で、住民様から実験を行うことに対して、我々だけでは決められないと。今一度実施設を使った試験を行うと言うことを知らしめてもらいたいと言うことがございまして、この日を選ばしてもらいました。月末の開催については、まだペンディング中ですけど、何も変わりなければ、開催についての是非は、またお知らせ致します。

住 民：次もし、3月行うとしたら、この案ですと、通気試験終わっていますよ。何となく流れ的にやっちゃうのではないかと心配があるんですけど。やるのですよね。

中元会長：それはまだ、市さんとの打合せ次第です。

住 民：と言うことは、市がOK出さないとやらないと言う判断で良いのですよね。何かちゃんとしたものを知りたい。通気試験に関してはどうします。

中元会長：市さんと協議させて下さい。

住 民：市と協議して、市がうんと言わない限り、やらないと言うことで良いですかね。

中元会長：市さんも今日来られていますから、その辺の見解はこの終わった後にでも、お話し合いしたいと思っています。

住 民：それで市が、とりあえず、これだったらやってみなさいよ。と言うことにならなければ、やらないと言うことで良いですね。

中元会長：まあ、そう言うことになりますね。

住 民：それで、皆さんよろしいですね。

住 民：はい。

住 民：市にまず、話しを出して、協議してもらえるのですよね。

中元会長：通気試験に関して、また、その辺は詰めさせて頂きます。ただし、年次点検に関しては、進めて行かなければならない部分がありますので、機械等が稼働するのか、電気は通じているのかの工事には、着手しようと思っています。

住 民：やるか、やらないのかのところは、ちゃんと協議してもらえるのですよね。

中元会長：はい。

住 民：通気試験の実施についての案と言うのは、撤回して下さい。先ほどから聞いていますと、市役所が許可をしたら、結局ここで、少しでも一部でも稼働できるわけですよね。進めて行くのに整わなければ駄目だと言った上での案ですよ。市が来ているので、市に聞いて下さいよ。勝手に案を作らないで下さいと言うことと、市の方の立場を聞いて下さい。

中元会長：案と言うのを、なぜ示したかと言うと、前回の説明会に来て下さった方から、そう言うご意見が数名出たのです。出たものを、我々は無視することは出来ない。宿題として我々は受けていましたので。書面できちんと出すべきだと言う

判断の中で、この案と言うのをいささかせてもらったのです。

住 民：案でも、工程表まで作ってあるのだけど、案は案ですよ。案だから、やめて下さいと言ったら、それも意見ですよ。案をやめて下さいと言う人を挙手してもらって、やめて下さいとなれば、それもそれで、今日賛否を問うのも、1つの案ですよ。やり方ですよ、手法ですよ。おたくで作ったプログラム、シナリオですよ。私の方のシナリオを進めて下さいと言っているわけではないから、そこはお願いしますよ、そここのところは。

住 民：参加して、思ったのが、一方的な意見だけ言われて、決定事項だけ知らされている。質疑応答になると、ビデオ撮影はやめて下さいと。なんで、質疑応答の時間は撮影禁止なのか。

中元会長：これは、当初からうちが開く時のルールなのです。

住 民：なぜ、そちらのルールを、こちらが全部守るのですか。

日テレ：今、おっしゃられているのは、自分でビデオカメラ持っていらっしやいますよね、その話しですよ。

住 民：そうです。撮って良いのかなと思って、後で見返して、どう言う意見があったとか、知りたい時があるじゃないですか。そう言うのを自分で撮って公開しても良いのかなと。

日テレ：ご自身でビデオカメラをお持ちなので、それで撮影されることに関してと言うことで、僕達の話しではないですよ。

住 民：そうです。

島田先生：公開して良いかは、中で協議させて頂いた方が良いかと。YouTubeとかで、公開すると言うことですよ。

住 民：そうです。やって良いのですかね。

島田先生：その件については、相談させて頂きませんか。

住 民：意見だけを言われて、こちらの意見は1つも通らないです。こうやって、説明会に来ていて、今びっくりしたのですが、思ったより人数が少ない。それって、私もそうなのですが、子供がいてなかなか来れないです。休みの日、土日で休日、家に子供がいて。置いてこなければいけないのです。それで来れない人は、いっぱいいると思うのです。そう言うのもわかっている、わざとこう言う日にやって、件数重ねて関心がなくなったように、見せているのかなと。八王子市の方が来ていると言うのですが、これだけの人数しかいないと、反対派はこれだけだと、決め付けられるかも知れない。

中元会長：全然、そのようには決め付けていません。

住 民：反対派はこれだけ。住民何千人といる中で、これだけしかいませんと。一部の人が、わがままを言っているような。そのように、捉えかねない。と言うことを言いたいのです。本当は、そうではなくて、この辺には小さい子がいっぱいいて、学校があって住宅も増えたし、ほとんどが子供がいるのです。小さい子は、結構敏感で、鼻血を出したのですよ。うちの子達だって。臭気が酷い時に。

その時は、子供だから鼻でもほじったのかと思ったのですが、違うのですよ。朝起きたら、シーツが一面真っ赤なのです。そう言うのは、全然因果関係がないと言われてたら、それまでなのです。そうなったことは事実だし。実験したりとか、農家の人に堆肥をあげたりすることは、立派な事ですよ。環境に負担がない方向でと言うのは、良いのですが、やるために複数の子供たち、この地域の子供たちを犠牲にしなければいけないのですか。と言うことを言いたいのですよ。この場所になぜ建てたのかって。学校だっていっぱいあるのですよ、この辺。学校があれば、幼稚園もある、保育所だってあるのですよ。そこの子供達は結構外で遊びますよ、子供だから。だけどそれを、なぜこの場所なのですかね。そんなに健康に被害がないと言うのなら、あなたのお住まいの地域に建てなかったのですか。お子さんなり、お孫さんがいるなら、大丈夫と言うならここに住まわせて下さいよ。

住 民：聞いていておかしいのだけど、質問者が自分の姓名とか住所とか言わないのですね、この会は。ルールがあるのでは、

中元会長：あの、すみません。当社の今司会やっている者とかですね、氏名年齢は割愛させて頂いて、お願いしているものですから。それをご理解頂ければと思います。

住 民：名前と住所くらい言うのが、質問者の礼儀だと思うのだけどね。それを言わないでしゃべっているのは、おかしいのでは。大概質問するときは、自分の名前と住所を言って、質問する。

住 民：私達は皆、あちらの方皆、住所も名前も知りませんよ。名前は出ていますけど。前回来た時に、公表して下さいと言った時に、出来ませんと言われました。

中元会長：出来ませんとは、言っていませんよ。

住 民：嫌だと言われましたよね。

島田先生：はい。私と、松田先生言えませんが、申し訳ないです。

住 民：普通、嫌ですよ。

中元会長：先ほどの女性の方、YouTube 等に関してはですね、時間頂けますか。

住 民：それは、なぜ駄目なのですか。

中元会長：それは、法的なこととか、いろいろあると思うので、だからマスコミさんにもお願いをして撮影を許可していますので。

住 民：情報公開だよ。

中元会長：情報公開は、情報公開で我々の方もしますし。

住 民：事業者の都合の良い編集をされたのを、公開されたら困るのですよ。

中元会長：我々は一切、そう言うものに対しては公開しませんし。

住 民：それは、都合が悪いからですよ。

中元会長：都合が良いとか悪いとかでなくて、その辺は皆さんの暗黙の中でですね、プライバシーの侵害だとかという部分があればですね、その部分を我々も排除しなければいけないと言うのもあります。ですから八王子市さんでもですね、昨年7月5日にやられた時、質疑応答の時にカメラは外に出た。と言うことで、その

辺も参考にさせて頂いて、我々も進めていると言うことです。それは、お問い合わせ下されば、ちょっと時間下さい。来週中には回答出来るようにしておきます。お電話頂ければ、どう言う形で対処するかと言うのはお返事させて頂きます。

住 民：嫌ですよ。なぜ、自分の時間を割いてわざわざ電話をかけなければいけないのですか。

中元会長：こちらから、電話を差し上げます。

住 民：嫌です。

中元会長：どのように、お知らせすればよろしいですか。

住 民：説明会だったり・・・

住 民：ホームページで公表すれば良いじゃないですか。

中元会長：ホームページで良ければ、公開しますけど、よろしいですか。

住 民：そうですね、はい。

八王子市：先ほど、事業者の会長さんから、八王子市と協議を進めていると言うお話があったので、事実だけちょっと、皆さんにお伝えしておきたいと思います。確かに、夏ぐらいから、何回か話し合いを持たせて頂いて、今までいろいろな協議をしてきているのは、事実です、八王子市と。ただし、今回の説明会、通気試験と言ったことについては、1月29日に両先生と八王子市で協議の場を設けました。木曜日14:30~17:30まで約3時間やりまして、そこでは健康被害調査アンケートの途中結果の報告、地元の皆さんとの協議会、保全委員会と言う名前が出ていますが、その途中経過の報告、12月に瑞穂町で行った公開実験の纏めが出来たので、その報告がされました。それから、通気の試験については、その会議の終わりの方に話しが出てきまして、我々もそこで困惑したような状況。それで、その会議は終わったと言うことです。週が明けて、2月2日の月曜日の夕方に、通気試験の計画書と今日の説明会の皆さんへのポスティングのチラシの案そう言ったもの諸々、他のもの含めて書類が提出されました。これが事実です。それで、本市はそのあと、話し合いがされていない状態でしたので、イズミ環境さん宛に文書で、お願いの文書を送りました。市との協議が整っていない、今の段階で説明会を開かないで下さい。それから、16日から堆肥の搬出の工程になっていますよね、その通気試験は行わないで下さい。協議が整っていないからやらないで下さい。それから、現時点では地域住民の皆さんのご理解が得られているとはまだ認めがたい。そう言った理由で、説明会と実験をやらないでくれと言う、お願いの文書を出してございます。それが事実です。今日開かれたと言うのも事実です。以上でございます。

住 民：ちょっと、おかしくないですか。今の話しだと。今の市の方のお話しを伺って、どうですか。事実ですか。

中元会長：事実です。

住 民：でも、説明会を行ったのですよね。

中元会長：そうです。

住 民：じゃあ、聞かないと言うことですよ。

中元会長：聞かないと言うことではないです。今回の説明会までは、ポスティングさせて頂いております。ポスティングにより配布されていましたが、急遽やめると言う手立てが時間的に余裕がありませんでした。我々もですね、決して皆さんに最後の挨拶になるのですが、迷惑を2度とあげようと思っておりません。決してご迷惑をかけないでですね、開かれた企業を目指してやっつけようと言う意思の、我々は今すごく意思を固めていますし、皆さんに是非その辺は理解して頂きたい。決して我々は、2度とここで臭気をあげて皆さんにご迷惑をかけるのであれば、撤退も考えています。撤退と言うことは倒産です。先ほど女性の方が言っていました。命がかかっていると。我々も命かけてやっています。まあ、私は58歳ですから、人生は皆さんから比べれば短いかも知れないです。でも、我々もそれぐらいの覚悟で、残ってくれた社員も、この事業にすごく共感して残ってくれているわけです。決してこの開かれた循環型社会の構築、やはりこれは、目指すべき事業だと思います。

住 民：すみません。だって、そのポスティングされた手紙だって、本当はポスティングしない方が良かったのではないですか。八王子市さん、どうなのですか。市としては、まだ配らないで下さい。と言うように指導とかなかったのですか。

八王子市：先ほど、申し上げましたとおり、ポスティングと言うか、今日の説明会自体をまだ協議が市と整ってないので、やらないでくれ。と言う申し入れは、しております。

住 民：そう言うのも、やらないでくれと言われた上でポスティングして、尚且つ、説明会をやらないでくれ、でもポスティングしてしまったからと言う言い訳は、ちょっとおかしいのではないですか。

中元会長：29日に説明に行き、市さんの方から、そう言う意見がなかったものですから、我々はそれで了解されたものと。

住 民：29日に説明に行き、説明の最後に通気試験の話をしたあと、市の方は困惑した。困惑したと言う状態で、これはまだ、市から許可が得られていないと普通なら思うのでは。こちらから見ると、ごり押しで説明会を行ってとしか思えないです。

中元会長：打合せをしている時に、説明します。質問も受けます。回答もします。その流れなのです。

住 民：市の方で、困惑したと言う言葉があったと思うのですが、それは、どうとらえたのかなど。

中元会長：八王子市さん、その場ですね、まだ納得していないから、やめろと言う意見があれば、やめます。困惑したと言うのは、私ではわかりません。

住 民：わからなかったのです。でもその後、翌週に通知書類を提出しました。また後日市から、指導があったわけですよ。わかりますよね。

中元会長：ポスティングは終わっていました。

住 民：理由にならないと思います。もう一度、ポスティングして頂ければ良かったと思います。

中元会長：用意して、皆さんに配るまでの時間入れたら、余裕がなかったのです。

住 民：中止するのであれば、ホームページに出すなり、ここに貼り出しするなり、いくらでも方法があったでしょ。

中元会長：それも、ありますけど。

住 民：考えませんでしたか。

中元会長：考えなかったです。

住 民：やってしまったのは、今更言っても仕方ないので、通気試験はまだやっていないわけですよね。さっき明確にやるなと言う話しでしたよね。文書で回答きたのですよね。

中元会長：やるなと言うのは、市さんも出せないのです。お願いしますと言うのは再考しろということなのです。市さんと協議が終わらなければ出来ませんよね。

住 民：時間がなかったからこの説明会はあったけど、通気試験までは時間があるから、市からの OK が出なければやらない。と言うお話しで良いですよね。

中元会長：市と協議はします。

住 民：で、OK が出ない限りやりません。と言うことで良いですね。

中元会長：OK と言うのは、2年待たれたら、1年待たれたら、3ヶ月待たれたら、会社なくなります。

住 民：それは、我々には関係ないことですから。

住 民：それは、あんたの都合で、さっき市からやるなと言われたら、やらないと言ったよな。

中元会長：市さんと協議、

住 民：協議じゃないよ。やるなと言われたら、やらないと言ったよな。

住 民：専務が家に来た時に、絶対臭いませぬから稼働しますよと、言ったのですよ。目の前で、でもこうなっちゃったじゃないですか。全然臭いなんか出ません。そうしたら、専務が亡くなっちゃったから関係ないって、それはないだろう。

中元会長：あの、時間が来ましたので、これで終わりとしてさせていただきます。今一度、最後にお願ひしたいのですが、我々も決して安易な気持ちでやろうと、挑んでいるわけではないです。今一度、皆さんにお願ひしたい。決して臭気をあげるようなことは、しません。

住 民：臭いが出ないゴミ処理場なんて、ない。

住 民：これだけ、回を重ねて感じませんか、皆、反対なのです。

中元会長：賛成の方が来られないのは、わかっています。反対者の皆さんのご意見を、我々は聞き入れて、これから進めなければならないということ、重々わかったうえで、挑んでいるわけです。

住 民：臭いだけでなく、有害物質が出ていると言う話しも、ありましたよね。子供の

将来のことも考えるから、健康被害と言うのは、すぐその場で出るものと、長い時間かけて出るものとありますよね。先ほど命をかけると、おっしゃいましたけど、子供の将来の命を、どのように考えていますか。大勢いますよ、この辺。

中元会長：そう言うもの全て公開していきますから。

住 民：おたくが言っている命と、私達が言っている子供の命と違うのですよ。それを考えて頂きたい。

住 民：子供の身体の面だけでなく、精神的にも凄くトラウマになっていて、今日私が説明会に行くと言ったら、パニックになっていたのです。フラッシュバックとか。そう言う精神面も壊れてしまっている。そう言う不安もあるし、こっちとしても恐怖があるので、やめてほしいです。

住 民：子供のことも考えて欲しいですね。住民、住民と言っていますが、傷ついている子供も、いっぱいいるのですよ。精神的にも。

住 民：外で遊べなくなってしまうのですよ。

住 民：学校から、泣きながら帰ってくるのですよ。そう言うの見てないじゃないですか。そう言うちっちゃいお子さんがいれば、わかると思うのですが。いらっしやらないと、わからないです。泣きながら帰ってくるころ、見てないですよ。苦しんでいるのですよ。今日説明会に行くと言っただけで苦しんでいるのですよ。子供のことも考えて欲しいのですよ。大人だけでなく。

中元会長：考えて、考えて、また皆さんにお知らせする部分、節目節目には、またこう言う会を開いていきますので。市さんとの打合せ等終わりましたら、また皆さんにお集まり頂いて、親切丁寧に説明は申し上げていきます。いろいろ、ブレがあったこと、この場をお借りしてお詫びします。

住 民：説明会ではなくて、単なる報告会にすぎない。お役所のことだから、時間がかかるのは、本当によくわかります。よくわかるのですが、それを見越した上で、そこを全部クリアした上で、こう言う会を開くのが本来のやり方ではないかと、思うのですね。農水省、東京都、八王子市、私達住民がいます。私達住民が税金を払って、建っているいじょう、微々たる税金かも知れませんが、私達はそこをいったん担っているものとして、考えて頂きたいのです。そうなった時に、あなた達がその間を取り持つのではなく、その4者で協議ですよ。そう言ったものを、同じ場でやって頂ければ、また少しは違ってくるのではないかと思うのです。今のままでは時間の無駄です。そう言った場を時間が掛かっても、潰したくないのであれば、そう言う努力を見せて下さい。正直私達は微々たる力です。農水省に行っても相手にしてくれません。それでしたら、そう言う努力を見せて頂けるのが、企業努力と言われているものかと思しますので、是非考えて頂きたいと思います。

中元会長：貴重な意見、本当にどうもありがとうございました。それでは、これで終わります、ありがとうございました。

以上